

# No. 1307

## 文化財を守る

— 東京・護国寺 —

東京、文京区にある大本山護国寺。この寺は本堂や月光殿の建物をはじめ壁画や仏像の多くが国の重要文化財に指定されている。「文化財防火デー」の1月26日、この寺で大がかりな防火演習が行われた。演習に先立ち、犬丸文化庁長官、味岡消防總監が各文化財を視察。つづいて本堂の祭壇でローソクが倒れ、壁に燃え移ったという想定で演習が開始された。寺の自衛消防隊に付近住民が加わっての初期防火演習。119番の通報で10台のポンプ車、ハシゴ車が境内に到着。見物の小中学生1000人の見守る中、本堂に向け一斉放水。貴重な文化財を火災から守るため国民ひとりひとりが充分注意したいものです。

## 現代の狂気

— 三菱銀行強殺監禁事件 —

1月26日、午後2時30分ごろ、大阪市住吉区の三菱銀行・北島支店に猟銃を持った男がおし入り、行員2人と警官2人を殺した上、店内にいた行員や客、多数を人質にとり、たてこもった。大阪府警と住吉署は装甲車、パトカー130台、防弾チョッキとたてをもった警官720人で同店をとりかこみ、人質の救出と犯人の逮捕にそなえた。犯人、梅川昭美(30)は小年時代の昭和38年強盗殺人をおこした前歴を持っていたが、昭和48年、大阪府警から猟銃を持つ許可を得ていた。

人質の一部は解放されたが、犯人は警官が建物を包囲する中、残り的人質25人をたてに、行内にろう城し続けた。たてこもった店内では女子行員の服をぬがせたり常軌を逸した異常な行為がくりひろげられたという。

一方、強行突破の機会をうかがい犯人に気づかれないよう北側シャッターに穴をあけ、スキをうかがい、救出作戦をねった。28日、午前8時42分、銀行内で「パーン」という8発の銃声。と同時に武装機動隊員20数人が次々に行内に突入。梅川を逮捕人質全員を無事救出した。2昼夜にわたり、全国を恐怖におとし入れたこの事件。今の日本の社会では珍らしくない犯罪への条件が最悪のかたちで、からみあっただけなのか。梅川を“狂気”に追いやったものは何か。